

令和5年12月18日

岡谷市長 早 出 一 真 様

岡谷市基本構想審議会
会長 竹 澤 幸 男

第5次岡谷市総合計画基本構想及び後期基本計画について（答申）

令和5年11月1日付5企第57号をもって貴職から諮問されました
第5次岡谷市総合計画基本構想及び後期基本計画について、本審議会は慎重
審議の結果、別添のとおり答申いたします。

(別 添)

我が国では、急速なペースで人口減少・少子高齢化が進行しており、超高齢社会を迎えようとしています。また、若年層の大都市圏への流出が続いており、生産年齢人口の減少による生産性の低下を招き、経済成長の制約となることが予想されます。

その結果、住民生活や社会全体においても、社会保障制度や生活インフラの維持が困難となるなどの影響を及ぼすことが見込まれるほか、産業の担い手不足を招き、まち全体の活力が低下していくことも課題となります。

また、新型コロナウイルス感染症が拡大したことに伴い、観光業などの地域経済を支える産業への打撃や、まちのコミュニティの弱体化など、経済・社会は大きな影響を受けております。

このように、社会情勢がこれまでと大きく変化している状況にあっても、地方自治体には、行政サービスの提供を維持し、地域の個性を生かしながら、住民が安心感をもって過ごせる暮らしを守り抜くことが求められており、岡谷市においても例外ではありません。

さらに、年々多様化・複雑化・高度化する住民ニーズに対して柔軟な対応も求められていることから、私たち市民は岡谷市の持続可能な行財政運営に高い関心を寄せています。

今回、諮問された第5次岡谷市総合計画については、将来都市像である「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けた、行政全般にわたるさまざまな基本的政策が示されています。

しかしながら、人口減少が続くなかで、市税をはじめとした歳入は減少する見込みとなる一方、歳出では社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策に伴う維持管理費が増加する見込みであるため、中長期的には財源不足が見込まれることから、政策を推進するために必要となる財源の確保は、今後さらに厳しくなることが予想されます。

このため、前例や従来常識にとらわれない柔軟な発想をはじめ、社会経済情勢の変化を的確にとらえたスピード感ある対応や、デジタル技術やデジタルデータを活かした業務効率化による持続可能な行財政運営体制の構築、選択と

集中による効率的・効果的な施策の推進をしていただき、安定的かつ継続的に市民一人ひとりのニーズに合った行政サービスを提供していただくようお願いいたします。

私たち市民も、人口減少という現実を受け止め、まちづくりの主役であることを自覚するとともに、市政に対する関心を深め、脱炭素社会の実現やまちの持続可能な発展を意識するなど、新しい時代に向けて、市民として果たすべき役割を認識し、市と協力しながら、市民一人ひとりが、計画の実現に向け主体的にまちづくりに取り組むことが必要であります。

そのためにも、市の具体的な取り組みを、市民に分りやすく提示していただくとともに、幅広い世代の意見把握に積極的に努めていただくようお願いいたします。

本審議会では慎重に審議を重ねた結果、急速に進行する少子化や人口減少の対策に危機感を持って取り組み、市民の幸せな暮らしの実現と、岡谷市のより一層の発展を願い、次のとおり意見・要望を添えて答申といたします。

意見・要望等

■後期基本計画について

【全般的事項】

1. 頻出する「地域」が何を意味しているのか曖昧であるため、市民にとってわかりやすい具体的な表現とすることを要望いたします。

2. 施策ごとに設定する成果指標について
 - (1) 数値の算出方法や根拠をはじめ、指標の捉え方や考え方などの内容について、説明を記載されるように要望いたします。
 - (2) 成果指標の性質によって単年度比較ではなく、累計や計画期間内の年平均にするなど、評価に適した指標とすることを要望いたします。

【基本目標 「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」】

1. 一人暮らしで亡くなることを想定した地域包括ケアシステムの施策としての終活・死後事務支援の取組をお願いいたします。
2. 高齢者自身も高齢社会の担い手・支え手の一員となり、生涯にわたり、自らの能力や経験を生かせる社会を形成する上でも、高齢者と定義する年齢の見直しの検討をお願いいたします。

【基本目標 「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」】

1. 児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現や情報活用能力の育成のため、教員のICT活用指導力の向上の取組を行っていただきますようお願いいたします。
2. 岡谷市は、カノラホールをはじめ、蚕糸博物館や美術考古館のほか、イルフ童画館など、他に誇れる文化施設が充実しています。それぞれの施設の回遊性を高めるため、認知度を高めるため、博物館、考古館、童画館の共通年間パスポートを作ってくださいようお願いいたします。
3. 文化施設の利活用を促進するため、各施設を拠点として活動されている団体等の活動実態の把握に努めるとともに、市民の活動規模にあった施設整備をお願いいたします。

【基本目標 「人が集い、にぎわいと活力あふれるまち」】

1. 市内では経営者の高齢化が進み、小規模企業を中心に廃業を検討する企業が増えており、すべての業種において、事業承継に関わる問題があると思います。各事業所が有するさまざまな経営資源を次世代に引き継ぐため、技術承継や事業承継などの支援を、引き続きお願いいたします。
2. 産業の支援を行うにあたっては、産業競争力強化法に基づいた支援をお願いいたします。
3. 個別計画に「岡谷市鳥獣被害防止計画」があるが、総合計画においては鳥獣被害防止に関する記述はないので加えていただきたい。

4. 効果的な移住・定住施策を行うため、相談はあったが移住に至らなかった理由の明確化・分析に取り組むようお願いいたします。
5. 岡谷を訪れる訪日外国人観光客を増加させるため、J N T O（日本政府観光局）の外国人観光案内所の認定をカテゴリー2にする取組をお願いいたします。

【基本目標 「安全・安心で自然環境と共生するまち」】

1. 地域防災の中核となる消防団員確保の取組の強化をお願いいたします。
2. 行政と地域との連携を強化させるため、区と市をつなぐ担当職員の配置などの検討をお願いいたします。
3. 2050年カーボンニュートラルへの達成に向けて、行政、企業、市民を巻き込んだ取組と市の関係部署が連携を図った施策展開をお願いいたします。
4. 諏訪湖に繁茂するヒシの除去については、県をはじめとする関係機関と連携し、根本的な対策に取り組んでいただくようお願いいたします。
5. 諏訪湖の水辺整備については、県に対して引き続き要望していただくようお願いいたします。

【基本目標 「快適な生活を支え、住み続けたいまち」】

1. 塚間湖岸橋と白鳥橋のサイクリングロード及びジョギングロードの整備をお願いいたします。
2. 諏訪湖畔に、諏訪湖に来たことが分かる諏訪湖を象徴するモニュメントの設置をお願いいたします。
3. 幹線道路のみならず生活道路の整備にも取り組んでいただくようお願いいたします。
4. シルキーバスについては、高齢者の乗降しやすい低床バス車両を導入に向けて取り組んでいただくようお願いいたします。

【基本目標 「みんなでつくる、確かな未来を拓くまち」】

1. 市職員の女性管理職の登用率の向上に取り組んでいただくようお願いいたします。
2. 外部機関による行政の施策、組織、人員の評価・検査に基づく、組織および定員の適正化に取り組んでいただくようお願いいたします。
3. 岡谷市公式LINEアカウントのさらなる周知に取り組んでいただくようお願いいたします。
4. 人口減少が進む中で、本市の人口規模に合わせた職員数とすることをご検討をお願いいたします。

(以 上)

(参 考)

審議の際に出された主な意見・要望等

■序論

- ・基本構想、基本計画、実施計画とあるが、実施計画は本審議会の審議には入っていないという理解でよいか。実施計画の3年間の進捗はどういう形で知ることになるか。
- ・市民アンケートの「②本市に対する愛着」については、プラスの回答のパーセンテージが下がっている原因について分析をしていただきたい。

■基本構想について

【まちづくりの基本理念について】

【将来都市像について】

【岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンについて】

- ・人口推計グラフの一番下の年の上にポイントを明確にする目盛りがないので明確にするため、目盛りを付していただきたい。

【土地利用の構想について】

【まちづくりの基本目標について】

- ・基本目標の順番に意図するところがあるのか。

■後期基本計画について

【基本目標 ともに支えあい、健やかに暮らせるまち】

- ・基本計画の主な取組の文言の中にもう少し具体的なものがあればいいと思う。
例えば、施策1－1主な取組に「結婚の希望を叶えるために」と新しい言葉を出しているが、前期基本計画では「出会いの場の創出」という良い言葉があったが、後期基本計画ではないので、前期基本計画にあった出会いの場をみんなで作っていこうというような言葉があった方がいい。

- ・結婚に対する支援で、「結婚生活のスタートに関わる経済的な負担の軽減を図る」については家賃補助などを広報でもPRしていると認識しているが、この負担軽減策について、他市町村と比べて岡谷市の充実度を教えていただきたい。また、市外居住者向けのPRについて、どのようなことをして、どんな方向で考えているかお聞きしたい。
- ・岡谷市で生まれる子どもの数を増やすのか、岡谷市で育っていく子どもを増やすのか、終的な目的なので、成果指標に出生数を入れて欲しいし、入れるべきではないかと思う。
- ・施策1-1の現状と課題で、「児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラーなど、社会的養護が必要な子どもや、発達に特性があり支援が必要な子どもが増加しているため」とあるが、数値を把握しているならば、成果指標に入れられないか。
- ・施策2-1の現状と課題と主な取組に、「活動を牽引するリーダー」とあるが、この活動を牽引するリーダーというのは、どういうイメージで捉えればいいのか教えていただきたい。
- ・施策2-1の主な取組の「地域支えあい体制の充実」の中で、移住者コミュニティや協議会といったものを組織し、地域にフィットさせる、移住者を誘致するといった活動につなげられればと思っているのでご検討いただきたい。
- ・施策2-3の資料・データで、精神障がい者が30%ぐらい増えていると読み取れるが、なぜ大幅に増加したのか。
- ・同じく、令和4年度の精神障がい者数も増えているというように読み取れが、成果指標は就労移行支援事業所の利用者数を19名から30名にするとあるが、精神障がい者と知的障がい者が増えている中で、成果指標がこの就労支援で11人増やすというだけでいいのか疑問に思う。
- ・計画(案)の中に「地域」という言葉が頻出するが「地域」は何を意味しているのか、地域というのは範囲で地理的なものだと思うが、団体のような言い方をしており、言葉の使い分けができていない。地域住民を指しているのか、区を指しているのか、活動団体を指しているのか、具体化していく中で、どこを指しているのか、誰にやってもらいたいのかということをはっきりさせたほうが良いと思う。
- ・施策2-1の中にも「地域」という言葉が頻繁に出てくるが、一体どこの範囲を示しているか分からない。地域サポートセンターの場合には、区が地域サポートセンター

を担っているのです、おそらく区のことを言っているのだらうと思うが、地域リーダーは、どこのリーダーを育成するのか。施策1-1の主な取組にも「遊び場の提供、地域を含めた親子交流の場の提供など」、「地域で支える環境づくり」、「関係機関や、地域との連携を強化し」など「地域」が出てくるが、地域サポートセンターは区だと理解したが、ここで出てくる「地域」は何を指すのか。

- ・区で活動されている民生児童委員、厚生保護女性会、子ども会育成会、自分たちが組織化している市内の各種委員などの言葉がこの計画の中に全然出てこない。
- ・施策2-2の高齢者福祉の推進で、終活という言葉がもう完全に世の中に定着しており、死後の準備をしておくことが、残りの暮らしの月日の充実に繋がると思う。地域包括ケア体制の中に、亡くなるまでしか入ってないというのがどうしてもおかしいと思っており、亡くなった後のことまで、やはり視野に入れることが、本当の意味での包括ケアになるのではないかと思うので、表現として入れていただき、体制を整えることが、より良い高齢者福祉につながっていくのではないかと思うので、時代の変化の特徴として、ぜひご一考いただきたい。
- ・施策2-2の資料・データの中に高齢化率35%とあるが、今後の高齢者福祉を語る場合に70歳過ぎてもまだ働いている人がおり、65歳はまだまだ若い。岡谷市の捉え方をもう少しきめ細かく、例えば75歳で切るとか、80歳の状況などの分析を今後の問題として、岡谷市は高齢者というのは80歳以上だというぐらいの方針を出してもいいのではないかと、そういった議論をしていく時期ではないかと思う。
- ・地域福祉は地域サポートセンター、ネットワーク会議を充実していかなければいけないと思う。サポートセンターがあると書いてあっても、サポートセンターがどの程度機能するかどうかということが大切。既存のものを超えた施策を打って新しい仕組みみたいなことも考えているという項目が欲しい。
- ・前期基本計画の際に、65歳以上で区切るだけでいいのかという質問したが、前期高齢者・後期高齢者と分けて考えているということであったが、成果指標には反映されないということではどうか。成果目標の買いが要介護認定率の目標値が19.77%であるが、目標値の根拠を教えてください。
- ・施策3-1の健康寿命について、算出方法が3つあるということなので、介護保険データを活用とか、少し小さい字で表の下に注記したらどうか。
- ・施策3-2の成果指標の目標値が50%となっているが、直近で25%まで下がった

が、急激に下がった原因が何か教えていただきたい。

- ・施策3-2の成果指標が、医療体制の充実に満足しているかとなっているが、岡谷市の求めている医療体制というのは一体何だろうと思う。高度医療を求めているのではないだろうし、三次医療でもないと思う。今の医療体制から、質問が一次の初期医療で満足しているかならわかるが、そうでなくて医療全般に聞くというのは疑問に思う。

【基本目標 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち】

- ・施策4-1で、ウェルビーイングというキーワード、最近定着している言葉ではあるが、ウェルビーイングというのは明確にこういうものだというものを言いにくいイメージもあるので、敢えてウェルビーイングという言葉を入れたというところの意図を教えてください。
- ・施策4-1の主な取組の「笑顔で安心して学べる教育環境の整備」について、ここだけやるのがすごく広大なことが記述されている。老朽化の計画改修、学校施設の適正化、義務教育学校の設立など計画的に進めているということなので計画はあると思うが、岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プランに入っているということでよいか。
- ・岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プランが平成31年度から令和10年度と長期間であるが、義務教育学校の設立は、たぶん、この後に出てきた話題ではないかと思うが、その辺りがどのようになっているのか確認したい。
- ・川岸で義務教育学校を進めていて、保育園も一緒にし、川岸小学校、岡谷西部中学校も一緒になるとのことだが、川岸小学校区でない岡谷区の子どもの中には岡谷西部中学校に通う子どももいると思うが、そういう子どもはどうするのでしょうか。
- ・長期欠席の比率の推移が令和4年度に極端に上がっているが、なぜか教えてください。また、その他が妙に多いが、わかる範囲があればその他の内訳もお聞かせいただきたい。
- ・長期欠席が増えていく傾向はしばらく全国的に続くという、避けられないということか。
- ・主な取組で、教育DXという意味も含めて、コロナ禍を通してオンライン授業というところも急速に取組が進んできたと実感している。学校に行けないが教育としては落ちこぼれない、そんな子どもたちを作るところに役立てていただけたらと思ったので意見とさせていただきます。

- ・オンライン授業は教員の差が大きく、この先生は使いこなせないからオンライン授業はできないというようなことが起きていた。教員の教育は長野県の管轄になるかと思うが、子どもたちがしっかり育っていくためには教員がいろいろな部分の知識を持っていないといけないというところもある。そこも含めての教育というところで、市としてできることに取り組んでいただけたらと思う。
- ・施策4-1の現状と課題で「いじめや不登校の問題に適切に対応するほか」について、不登校であれば、この子は学校に行っていないと目に見えてわかるが、いじめというのは目に見えないところで行われている。市または学校でどんな対応をしているのか。また、件数がどのくらいあるのか教えていただきたい。
- ・いじめに対しての取組というのはどんなものか教えていただきたい。
- ・施策6-2の主な取組に、「文化芸術活動の促進と人材育成」とあるが、岡谷市でそういった活動をどの程度できているかということを市は把握しているか。岡谷市には意外に活動できる最適な規模の施設がなく、そういったものを欲しがっている団体がどのくらいいて、どのくらいの市民が活動しているかという実態、いわゆるソフトの部分も市で捉えておいていただきたい。
- ・施策6-2 文化芸術の振興について、入場者数というのは変動が何によるものかわかりにくい。コロナでどのくらい減ったのかが分からず、令和4年度はコロナの影響があるわけで、令和5年度はちょっと減ってきたのかと思う。目標値が前期基本計画とほぼ同じ値なので、コロナの影響は除いて、元々の入場者数に合わせるという考えだとは思いますが、取組がどう影響したかという成果指標にできないものかと思う。例えば、イルフ童画館のワークショップの開催や周知が本当に入場者数に影響しているのか、効果があるのかが分からない。例えば、ワークショップで何人を来館させるといった工夫があってもいいのではないかと思う。
- ・入場者数を増やすということであれば、博物館、童画館、考古館の共通年間パスポートを作っていただくと入場者数は3倍になると思う。
- ・施策6-1の現状と課題に、「誰もが気軽にスポーツに参加できる環境づくりを進める必要があります」とあるが岡谷市の箱づくりは上手で良い箱は多いが、参加者が思ったより参加者が少ないと思うことがある。参加してもらおうための最後の一押しというか、例えば周りの人間を多く誘える人への共感を誘ったり、ITを活用してイベントの通知を出したら自動で予定表に入るとか、何か最後の一押しを、どうしたら参加

してもらえたらいいな、なぜなぜを繰り返してやっていくと、もっと人が集まったり参加してもらえたりするのではないかと思っている。せっかくの良いイベントとか企画なのだから、そんなにお金を使わなくても頭を使えばいろいろできると思う。

【基本目標 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち】

- ・新規創業の支援、創業者を積極的に支援について、創業を支援する支援機関と市では契約など何らかの関係を結んでいるのか。
- ・施策7-1の成果指標が1年間の単年度比較ですが、成果指標の性質にもよると思うが、経済政策の場合は、単年度比較より、例えば5か年の複数年の比較の方がいいのではないかと思う。
- ・未利用地や工業適地の掘り起こしで、企業の流出防止や企業誘致に努めるということだが、日頃からある程度の工業適地を確保する目安を立てているというような形になるのか。
- ・岡谷市の場合、大企業を誘致する上で、広い土地の確保が難しいと思うが、企業を誘致するにしても、ある程度そうした目途を立てておいて、すぐに用意ができるというような状況は整えておく必要があると思う。
- ・産業集積が岡谷に限らず諏訪地域の一つの岡谷・諏訪らしさというところになるかと思う。産業が集積しているという点では、創業支援も大事だが、廃業に対する防止や後継者の確保などで、さらに重きを置いてもらえればありがたい。経営者が60歳を過ぎていて、後継者がまだ決まってないというところが3分の2ほどあるという実態もあるので、積極的にアプローチして、例えばM&Aというようなものに対する支援や情報の提供というのを積極的に進めてもらいたい。
- ・事業承継支援について、後期基本計画の終了年度の5年後を想像した時に、相当数の経営者が高齢化し、まさに岡谷のものづくりの基盤産業の核となる企業が、どんどんなくなっていってしまうのではないかと懸念している。各企業が事業承継を主体的に考えていくべきものであって、支援というのは難しいが、今の産業の集積、技術を岡谷で続けていくためにも、関係機関と連携しながら、大きなテーマと捉えて、支援に対して積極的に対応いただければと思う。
- ・施策7-2の施策の大綱で「暮らしに彩りと潤いがあふれ、「楽しい」があるまちをめざします。」とあり、同感するが、それが基本計画ではどうやって取り組んでいく

のかお伺いしたい。

- ・施策7-3の現状と課題に「農業の形態は比較的小規模な農家が大半を占めており」とあるが、この「比較的」が何と比較しているか分かりにくいので、「比較的」は削除していいのではないかと感じた。
- ・現在、岡谷市に農家というのは何件あるのか。また、実際に農業で生活しているのは何件かお聞きしたい。
- ・施策7-3の主な取組にある森林整備計画は、岡谷市では昨年度どのくらい計画を採用できたか。また、継続して行っているのか。
- ・施策7-3の主な取組が前期基本計画に書いてあることとほぼ同じだが、成果指標の値の考え方がよくわからないのでお尋ねしたい。
 - ①遊休農地面積について、今回、目標と現状が同じ値です。それが取組に関してどういう成果指標、評価になるのか分からない。
 - ②民有林年間間伐面積について、前期基本計画では69.7haを130haにするという目標だったが、後期基本計画は終了時の目標が5倍ぐらいになっていて、何か取組をしない5倍にならないと思う。
- ・施策7-3に関連して、今、有害鳥獣はクマが全国的に大変な話題になっているが、クマの殺処分など、しっかりした方向性を持たせてもらった方がいいと思う。シカ、クマといった有害鳥獣に対して、どう対応していくかをお伺いしたい。
- ・施策8-2の主な取組の「観光情報の発信」で、「訪日外国人観光客に対応した情報発信と誘客活動」とあるが、具体的なイメージができないのでご教示いただきたい。
- ・他の市町村に比べて外国人の方が岡谷に来ることがあまりないように感じている。日本政府観光局（JNTO）の外国人観光案内所カテゴリーでは、県内では長野、松本しかカテゴリー2になっていない。カテゴリー2にすれば、それだけで外国人の気を引くと思うが、そういう考えはないか。諏訪、茅野を含めて連携した活動が重要と思う。諏訪も茅野もまだカテゴリー1のままなので、3市のうちのどこか1つでもカテゴリー2を目指していけば、だいぶ変わるのかなと感じている。
- ・施策9-1で、本市の従業員数の推移が資料・データにあるが、平成28年から令和3年の5年で、21,500人が25,000人に増えている。この数字どおりに捉えていいものなのか教えていただきたい。
- ・施策10-1の成果指標で、明らかに移住されないという決断をされたという方も中

にはいると思う。移住しなかった理由の明確化はできているのか。もしできていないのであれば、ぜひ理由の明確化をしていただきたいし、できているのであれば、それが次の取組の具体的な策に当然反映されてくると思いますので、その辺りのことを教えていただきたい。

- ・移住の理由については、1件1件、事情も異なるし、世代によっても異なると思うので、せっかくご相談いただいた方の生の情報を積極的に聞き取りしていただき、具体的にその辺の内容をはっきりさせていくと、世代ごとに具体策として充実させていけると思う。

【基本目標 安全・安心で、自然環境と共生するまち】

- ・施策1 1-1で行政と地域との連携ということで、市職員に担当地区があり、地域の方との接点をつくっているかどうか教えていただきたい。地区の担当の方が市にいれば話しやすいということがあり、予算がないでは済まされずに、上まで話を持ってってくれるのではないかと。何か困ったことがあったら担当の方から行政の方に入っていくというようにすれば、より良くなるのではないかと。思う。
- ・成果指標の防災訓練参加者数について、防災訓練は区が主体としてやっていると思うが、区に入っていない方は市でどのような対応をしているか教えていただきたい。
- ・成果指標の18歳から30歳の消防団の団員数ということで、増やしたいということだが、消防団に対して、もう少し援助というか対策があった方が勧誘はしやすいのではないかと。思う。
- ・自主防災組織という言葉が何回か使われていますが、これは何を指すのか。組織というと難しく捉えてしまう。
- ・大規模な災害への備えということで、流域治水、砂防、治山を含めたさまざまな対策を積極的に進めるとあるが、災害リスクの高いところを個別計画のところ落とし込んで計画を進めていくということか。
- ・施策展開のための個別計画の成果指標というのは、また改めて設定されるのか。
- ・施策1 2-1として、「地球温暖化防止対策の推進」を新しく加えていただき感謝。内容も適切な表現をしていただいて御礼申し上げます。
- ・施策1 2-1の主な取組に「2050年カーボンニュートラルの達成」があるが、大変な部分なので、一つの課だけで抱えるような状況ではなく、市民、国民全部が取り

組まなくてはいけない問題である。市役所には各部署に分かれているが、同じ目標があるならば、関係する部署はどのように連携をとって、実際にできているのかということを確認して、「関係課連携を図り」などと記述すると安心できる。

- ・施策12-1の現状と課題で、再生可能エネルギーの具体的な導入目標を定めるとあるが、時期、目標数値等の取組はどうなるのか教えていただきたい。
- ・施策12-2の諏訪湖一斉清掃だが、実際に参加してみて、多数の方が参加していたが、ほとんどやることがなかった。参加者数を1,000人から3,000人に増やしたからといって、環境に影響があるかというところでもないように感じている。例えば、やり方を工夫して、一斉ではなく分散させるなどの検討をしていただきたいと思う。
- ・ヒシ除去事業について、「県や環境団体などが実施するヒシ除去事業などが行われており」と記述されているが、ヒシ除去事業を県や環境団体に任せるということか。ヒシ除去事業に参加したことがあるが、環境団体のヒシ除去は、はっきり言ってデモンストレーション。市民の意識向上にはつながっていると思うが、本当にヒシを除去したいなら、市か行政かで事業としてやらないといけないと思う。
- ・諏訪湖のヒシの問題自体は、県の関係で市では手が出せない。確かに啓発事業で市民が一生懸命、手でやっているが、あれだけのものだから、ろくに取れない。県が一生懸命、刈り取り船で除去している。おそらく我々がいろいろ言っても県に相談しなければ、これはできないというように我々は捉えている。
- ・諏訪湖の観光に関わる部分だが、以前、下浜は渚であったが、今は木が生えて見た目が悪いし、景観が良くない。これは観光客に対しても非常にいい気分ではないと思う。何とか県の方で除去できるようにしていただけないか。
- ・施策13-1について、前期基本計画の取組で、「都市景観の創造」という項目があったが、今回は入ってない。都市景観に関しては、もう重点項目ではなくなったのかお聞かせ願いたい。また、主な取組に都市景観は入っていないが、個別計画には岡谷市景観形成基本計画がある。これは引き続き、取組をやるのかお聞きしたい。

【基本目標 快適な生活を支え、住み続けたいまち】

- ・施策14-1の岡谷駅周辺地域のところに、「新たな時代にふさわしい都市機能を持つ活用整備方針の検討」とあるが、具体的にどのようなイメージか教えていただきたい。

- ・施策14-1の岡谷駅周辺整備の部分で、「官民連携による民間活力の導入など事業手法」とあるが、建設会社や設計会社、コンサル事業者などの青写真やたたき台などを検討するということも考えられるのか。
- ・施策14-1の岡谷駅周辺整備について、後期基本計画の年度内に、おおよそこの程度まで進めたいというようなところを教えてください。
- ・ララオカヤの件ですけれども、もう解体が決まっているのであれば、周辺の木だけでも先に切っていただけないか。
- ・施策14-1の主な取組の中の公園の関係で「市民の自主的、主体的な参加を得ながら」とあるが、高齢化が進み、主体的な参加がしにくくなっている。個人的には「地元の住民の協力を得ながら」という程度にして、公園を持っている各行政区と相談して進めるのがいいと思う。
- ・施策14-1の現状と課題で「諏訪湖畔の賑わい創出に向けての取組」ということで、観光の振興にも似たような表現があるが、県外からお客さんが来て、諏訪湖を観たいということでお連れすると、諏訪湖が見え、八ヶ岳が見え、富士山が見えるというのは、この岡谷側からだけなので、そこにモニュメント的なものがあって、諏訪湖に来たというのが分かるという。ただ風景だけ見ると分からないという話を聞いている。そういう人たちが写真を撮って、SNSにアップすれば、賑わいの創出につながるのではないかと思う。
- ・施策14-1の成果指標で「計画的土地利用に関する市民の不満足度」について、どのような理由で不満なのかを教えてください。
- ・施策14-1の成果指標で「計画的土地利用に関する市民の満足度・不満足度」について、計画道路はその形が今のままでいいのか、今の用途地域がいいのかなど、もう少し絞った形でお聞きするのも一つの案ではないか。
- ・サイクリングロード、ジョギングロードの維持管理は計画しているのかお聞かせください。完成後も維持管理を続けてできれば、指標の満足度も上がったりするのではないかと思います。
- ・サイクリングロードとジョギングロードはまさに工事中だと思うが、横河川の橋と塚間川の橋で分断されている。塚間川はジョギングロードを作ろうとしているが、横河川は将来を見越して橋桁はあるが、サイクリングやジョギング用の橋が作る予定があるかお聞きしたい。

- ・施策15-1の幹線道路について、岡谷市は幹線道路が整備されている非常に良い市だと思う。しかし、幹線道路から生活道路の細かい道路に行くと、非常に道が良くない。デコボコしていて、お年寄りが歩くにも結構大変な道路が多いので、細かいところも整備していただきたい。
- ・施策15-1の成果指標の「舗装修繕率」は、分母が市道延長の395kmで、徐々に修繕していき、毎年修繕しているものが積み重なってくると、修繕率が上がっていくという解釈になる数値でしょうか。資料・データのグラフでは年々上がってきているという数値になるので、そういう見方でいいか教えてください。
- ・施策15-1の主な取組で「公共交通網の利用促進」に「岡谷駅周辺や岡谷市民病院のバスターミナルの利便性を高めるとともに」とあるが、この2か所に限っては利便性が高いと思う。具体的にどのような利便性を上げるのかということと、利用促進のためには、バスの老朽化が一番の問題ではないかと思う。高齢者は押し車や杖を突いたりすると、古い型のバスだと、ステップを上り降りできない。ステップの広いバスにするなどの検討をしていただきたい。
- ・施策15-1の主な取組の「幹線道路などの整備促進」について、「長期未着手の都市計画道路については、機能や規格、必要性などを再検証しながら」とあるが、検証後には積極的に促進するというような前向きな表現にしてみてもどうか。積極的に取り組むような表現が、現状と課題で「幹線道路の整備を促進する必要があります」と謳いながら、その次で「必要性を検証する必要があります」となっているので、姿勢に不満を感じた。
- ・施策15-1の主な取組の「諏訪湖スマートインターチェンジ整備効果の発揮」について、スマートインターチェンジができれば非常に便利になると思うが、主な取組として、「必要な交通網などの整備に努める」とあるが、どのような整備を想定しているのかお聞かせいただきたい。
- ・施策15-1について、釜口水門周辺が朝晩の渋滞で、移動に大変時間がかかり、岡谷市に仕事に行きたくないという声も聞かれる。その中で、諏訪湖スマートインターチェンジができれば、もっと混雑して渋滞されると予想されるが、交通網の整備に取り組むと書いてあるが、どのような取組をするのか教えていただきたい。
- ・施策15-1の施策展開の方針にJRについて記述があるが、これについて主な取組について触れられていない。取組として何かするのか。複線化するのであれば、下諏

訪から四賀の普門寺信号場まで複線化しないとあまり意味がないと思う。できる気がしないことに力を入れなくてもいいのではないかと思う。岡谷市民のためには、上浜の踏切から、高架の北側にある新しい道路まで、道をつないだ方がいいと思う。

- ・施策15-2の主な取組で「安全で安心な水道水の安定供給」について、鉛管の考え方はどのような状況になっているかお聞きしたい。

【基本目標 みんなでつくる、確かな未来を拓くまち】

- ・施策16-1の成果指標の「②審議会などにおける女性委員の登用率」について、市職員の女性管理職の登用率を上げて欲しいと思う。女性登用率を上げる取組やクォータ制の導入などのお考えがあるのかお聞かせください。
- ・施策16-1の成果指標の「①まちづくりに対する市民参加の機会がある場合、参加したいと思う人の割合」について、何か具体策があれば教えていただきたい
- ・市の公式LINEアカウントに登録したところ、非常に良かったのでぜひ周知を推進していただきたい。
- ・施策17-1の現状と課題で、「人口減少などにより市税をはじめ歳入の増収が見込めない」とあるが、市税の収入未済額を教えていただきたい。
- ・施策17-1の主な取組の「行政改革の推進」で「公民連携手法」とあるがPPPやPFIという手法だと思うが、岡谷市に取り入れた実績はあるか。
- ・施策17-1の主な取組の「組織及び定員の適正化」について、この評価はこのような審議会をやっても、どうしても内部が市になりがちなので思い切って外部機関に、行政の機構、組織、人員について、評価・検査をしてもらうというのはいかがか。
- ・施策17-1の現状と課題で、「経済環境に対するため、効果的な組織体制の構築と、職員配置の適正化を推進する必要がある」とあるが、効果的な組織体制の構築について教えていただきたい。
- ・施策17-1の成果指標の「財政調整基金および減債基金残高、市債残高」について、適正規模の基準があれば教えていただきたい。
- ・施策17-3で、このDXについては、語句の説明があるが、DXの後に括弧書きで語句の説明をすれば分かりやすいと思う。
- ・施策17-3の施策の大綱で、「業務の効率化を促進します。同時に、人的資源を行政サービスのさらなる向上に役立てるなど」と非常に良いことが書いてあるが、いわ

ゆる行政改革的な職員の適正配置ということは考えていないか。岡谷市の人口は47,000人くらいで推移しているが、人口規模に合わせた職員数とする努力をする必要があると思う。

- 自治体DXの推進について、岡谷市には各公民館に職員が配置されていて、住民票等の業務をしているが、マイナンバーカードの普及もあり、自治体DXの推進により、職員配置については将来的には削減で考えていったらどうか。
-